

高槻の高齢社会をよくする会 2017 年度活動方針

順調に進んできたつどいの家「はむろ」の事業も、厚労省の政策の変化によりデイサービス等で大きく減収になりました。スタッフの節約努力により初めての危機も回復しつつある事を喜び、今年度は増収対策を取って堅実な経営を目指したいと願っています。

高槻市でも地域総合事業と称した介護予防活動を重点にした活動が始まっています。もとより「よくする会」の理念である「尊厳を持って生きられる豊かな人間関係を創る」伝統を生かして、「地域包括ケアシステム」を先取りしてきた活動は、今年も着実に進めたいと思います。特に、会員互助活動の「ありんこの会」活動は、順調に利用者が増えていきます。地域で支えあう一つのモデルとして活動の幅を拓けて行きたいと思います。

24年の歴史を持ち、会員の高齢化も進んでいますが、老いてもますます元気を保って活躍できる場所を互いに作りだしたいと願います。マンネリに陥らないように、地域の新しい課題を見逃すことなく前進しましょう。

1. 心身ともに健康を維持し、生きがいや働きがいを見出すため、会員が地域で上手につながって助け合う仕組みを創る。

イ. 井戸端会(塚原地区第2火曜日、南平台地区第3金曜日)を毎月開催して地域の仲間づくりを行う。

ロ. 毎月第3土曜日につどいの家「はむろ」で午前は運営委員会を開き、午後には学習や交流を深めるための行事を企画する。行事に参加しやすくするために送迎体制を整える。また、会員や地域の要望を聞いて企画を充実させるため、運営委員会への参加者を増やす。

ハ. 塚原の「福祉ステーション えにし庵」を始め、協力依頼のある地域活動との協働を進める。

ニ. NPO フェスタに参加し、高槻の行政やNPO団体との協働活動を進める。

ホ. 「よくする会祭り」を年一回行い、会員や地域との交流を深める。

2. 病気や障がいを負っても互いに尊厳をもって生きられるよう、「弱さ」を共有して支えあい共に成長していく。

イ. つどいの家「はむろ」の介護事業と予防活動を充実させ、ケアの質を高める。スタッフの世代交代を意識してその成長を図る。

ロ. 会員互助活動「ありんこの会」の活動を更に拓けて、互助活動の実績を作りつつ会員も増やす。

ハ. 「認知症を理解し地域で支える会」の活動等に参加し、認知症本人とその家族の支援に貢献する。